

平成29年3月13日

大規模災害を想定した危機管理演習の実施について

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ(代表取締役社長:安部徳行、本社:東京都大田区、以下 NTTロジスコ)は、東日本大震災から6年目を迎えるにあたり平成29年3月10日(金)に、大阪直下型地震「最大震度6強」の発生を想定した危機管理演習を実施いたしました。

災害発生時に物流を途絶えさせることのないよう、昨年に引き続き複数の荷主企業様にご協力いただき、災害時の情報伝達や設備復旧及び事業継続の対応を含めて演習を実施いたしました。また、今回は関西エリアの物流センタが休日に被災した想定とし、被災センタと本社災害対策本部メンバーが自宅や外出先から駆け付けて対応する演習も実施しました。

NTTロジスコは、耐震基準を上回る物流センタの整備や自家発電設備、燃油備蓄、情報システムのバックアップなど、通信インフラを担うNTTグループの一員として様々なBCP対策を講じております。東日本大震災や過去の災害において発生した事象を教訓として活かしていけるよう、今後もより一層、災害対策を強化するとともに、「災害に強い物流会社」として事業継続への対応力向上に努めてまいります。

1. 演習実施日

平成29年3月10日(金)

2. 想定災害

発生日時(仮定):平成29年3月11日(土) 11:15

地震規模:大阪直下型地震「最大震度6強」

被災センタ:八尾物流センタ、鶴見倉庫、堺物流センタ、高槻倉庫

被災状況:停電、断水、通信障害、敷地内車路の一部陥没、保管商品の落下、ケガ人等

3. 訓練概要

(1)被災状況の確認

- ・従業員の安否確認(安否確認システムによる個人携帯電話への安否確認メール送信と返信状況の管理)、被災センタからのケガ人等の状況報告
- ・倉庫建物、保管商品、倉庫内マテハン、情報システム等の被害状況とお客様対応
- ・被災センタ周辺環境の状況報告

(2)情報の伝達

- ・荷主企業、災害対策本部への情報伝達
- ・衛星携帯電話の動作確認

(3)事業継続への対応

- ・緊急出荷、配送車両の手配
- ・復旧作業応援要員の手配
- ・情報システムの復旧、バックアップ
- ・物流センタ被災箇所の応急処置



〔本件に関するお問合せ〕

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ

業務部LE部門

企画総務部広報担当

〒143-8530

<http://www.ntt-logisico.co.jp/>

TEL 03-6436-8156

TEL 03-6436-8105

東京都大田区平和島1-1-2